

本時の指導(1/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

○ 題名に関心をもち、範読を聞いたり全文を読んだりし、感想をもつことができる。

○ 「スイミー」を読み、感想を発表している。

(3) 本時の重点的指導事項

聞き方・話し方(相互交流活動について), 言語事項

(4) 授業仮説

感想の交流の場において、話し方・聞き方を提示することによって、自分の感想をグループ内で発表することができるであろう。

(5) 準備

ワークシート, 作業帳, 掛け図

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①題名に関心をもち、全文を音読する。	○「スイミー」という題名に注目して、「スイミーってなんだろう。」と問いかけ、教科書P40～P41を範読して、挿絵から「スイミー」を見つけさせる。 ○リード文を参考にして、読み方を意識させる。	一斉		掛け図
展 開	②お話を読んで、思ったこと・考えたことなどの感想を書く。 ③感想の交流をするための話し方・聞き方の約束をする。	○挿絵を見て、感想をもった挿絵の横にマークを書く。 楽・お・こ・よ など ○「私が楽しかっただろうなと思ったところは・・・ところです。」というように、話型を提示する。 ○聞き方については、相手の考えと似ているか、違うのかなどを考え、相手のよいところを見つけるようにする。 「それぞれの読み方、感じ方が違うので、どの発表もすごいなと思ってね。」	個人 一斉		作業帳 P40-2・3
開	④感想の交流をする。	○感想は、グループ内で発表する。	ペア グループ	「スイミー」を読み、感想を発表している。 (発表・観察)	
ま と め	⑤友だちの発表を聞き、自分と同じところ、違うところに気づいたことをワークシートに書く。	○最初なので、考えの変化にはこだわらず、相手の考えのよいところだけでもよい。	個人		ワークシート①

(7) 評価

「スイミー」を読み、感想を発表している。(発表・観察・ワークシート)

「スイミー」を楽しんで読もうとしている。(観察)

本時の指導(2/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
- 話し合ったことを考えながら、音読することができる。

(3) 本時の重点的指導事項

文章検討、自分の経験と結びつける

(4) 授業仮説

兄弟たちで暮らしているスイミーの楽しさを想像する場において、ペアやグループで話し合わせるにより、兄弟がいない児童でも楽しさを想像することができるであろう。

(5) 準備

作業帳

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展開	②第一場面(教科書P40～P41)を読み、話し合う。 ・兄弟たちとの暮らし ・スイミーについて	○スイミーはどこで暮らしているのか。だれといるのか。(文章検討) ○兄弟たちで暮らしていると、どんな楽しいことがあるのか。→自分の経験とを結びつけて考える。 ○挿絵を見て、気づいたことを言ってもらおう。 ○スイミーがどんな魚なのかをイメージする。 「スイミーはどれ？」 ○スイミーがほかの魚たちと比べて違うと分かる文に線を引く。(文章検討)	一斉 ペア グループ	場所の設定・登場人物の特徴を理解している。 (発言・発表・観察)	作業帳 P41-4
	③第一場面はどのように読んだらいいのかを考える。	○この場面はどのように読んだらいいかな。 「この場面に題名をつけるとしたら、何とつける？」	グループ		作業帳 P40-3-1
まとめ	④話し合ったことを考えながら、音読する。		グループ	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	

(7) 評価

場所の設定・登場人物の特徴を理解している。(発言・発表・観察)

場面の様子が分かるように音読している。(観察)

本時の指導(3/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
- 話し合ったことを考えながら、音読することができる。

(3) 本時の重点的指導事項

文章検討, 比喩表現, 倒置法

(4) 授業仮説

第二場面の音読のしかたを考える場において、ペアやグループで話し合わせることにより、まぐろの恐ろしさやスイミーの悲しみを表現できるであろう。

(5) 準備

ワークシート, 作業帳

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展 開	②第二場面(教科書P42～P44L3)を読み、話し合う。 ・まぐろについて ・赤い魚とスイミーについて	○「ある 日」の部分から何か事件が起こりそうだと考える。 ○まぐろについて書いてあるところに線を引く。 (文章検討) ○比喩表現について知る。 ～みたいに…(たとえ) ○赤い魚たちとスイミーはどうしたのかを話し合う。	一斉 ペア グループ		作業帳 P41-5
	③独りぼっちなスイミーの気持ちを表している文を書き抜く。	○第一場面と対比して、スイミーの気持ちが表れている文を書き抜く。 ○倒置法について知る。 「どちらが暗い海を一生懸命泳いでいるように思う？」	個人	まぐろによって独りぼっちなってしまったスイミーの気持ちを叙述に即して想像している。(ワークシート)	ワークシート②-1
	④第二場面の音読のしかたを考える。	○この場面はどのように読んだらいいかな。 まぐろのところ・独りぼっちなスイミー 「この場面に題名をつけるとしたら、何とつける？」	ペア グループ		
	⑤話し合ったことを考えながら、音読する。		グループ	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	

(7) 評価

まぐろによって独りぼっちなってしまったスイミーの気持ちを叙述に即して想像している。
(ワークシート)

場面の様子が分かるように音読している。(観察)

本時の指導(4・5/10時間)

- (1) 題材名「スイミー」
- (2) 本時の目標
 - 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
 - 話し合ったことを考えながら、音読することができる。
- (3) 本時の重点的指導事項
比喩表現, 体言止め
- (4) 授業仮説
スイミーが元気を取り戻した理由を考える場において、ペアやグループで話し合わせることに
り、叙述に即して読み取ることができるであろう。
- (5) 準備
作業帳, 画用紙, クーピー
- (6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展 開	②第三場面（教科書P44 L4～P45）を読み、スイミーが海の中のすばらしいものやおもしろいものを見るたびにだんだん元気を取り戻していく様子を想像する。 ・前の場面ではスイミーの様子はどうだったのかを確認する。 ・「けれど」で、どうなるのかを考えさせる。 ・海の底にはどんなものがあつたのかを、作業帳に書く。	○叙述に即して読む。 ○スイミーの様子が表れている文を確認する。→線を引く（文章検討） ○逆接の接続語の使い方を理解させる。 ○比喩にも着目させる。	一斉 個人 ペア	場面の様子を想像し、スイミーが元気を取り戻すことを理解している。 (発言・観察)	作業帳 P41-6
開	③スイミーはなぜ元気を取り戻したのだろう。 ④第三場面の音読のしかたを考える。	○スイミーが元気を取り戻した理由を交流しながら考える。→自分の経験を話してみよう。 ○この場面はどのように読んだらいいかな。	グループ		
ま と め	⑤話し合ったことを考えながら、音読する。		グループ	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	

- (7) 評価
場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、スイミーが元気を取り戻すことを理解している。(発言・観察)
場面の様子が表れるように音読している。(観察)

本時の指導(6/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
- 話し合ったことを考えながら、音読することができる。

(3) 本時の重点的指導事項

文章検討、倒置法

(4) 授業仮説

スイミーの行動や行ったことを読み取る場において、ペアやグループで話し合わせることで、
叙述に即して読み取ることができるであろう。

(5) 準備

ワークシート

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展 開	②第四場面前半(教科書P46～P47)を読み、話し合う。 ・見つけたという言葉にはスイミーのどんな気持ちが表れているのか。 ・赤い魚とスイミーについて	○自分の仲間に似た小さな魚に会ったスイミーはどうしたか。(文章検討) ○倒置法の効果を考えさせる。 ○スイミーの誘いに赤い魚たちはどう答えたのか。 「なぜ。岩かげにいるの？」 「いつまでもそうしていると困るわけは？」	一斉 個人 ペア 個人 ペア	スイミーと小さな魚たちのやりとりを理解している。(発言・観察)	ワークシート②-2 作業帳 P42-7・8
	③「スイミーは～考えた。」の言葉はどんな様子のことを言っているのか。	○考えに考えている様子を想像させる。(文章検討) →「いろいろとうんとどっちが力が入る？」	グループ		
	④第四場面前半の音読のしかたを考える。	○この場面はどのように読んだらいいかな。			
	⑤話し合ったことを考えながら、音読する。		グループ		
ま と め					

(7) 評価

スイミーと小さな魚たちのやりとり、スイミーの提案を理解している。(発言・観察)
場面の様子が表れるように音読している。(観察)

本時の指導(7/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
- 話し合ったことを考えながら、音読することができる。

(3) 本時の重点的指導事項

文章検討、倒置法

(4) 授業仮説

スイミーの行動や行ったことを読み取る場において、ペアやグループで話し合わせることで、
叙述に即して読み取ることができるであろう。

(5) 準備

ワークシート、聞き方・話し方

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展 開	②第四場面後半(教科書P48～P48L8)を読み、音読のしかたを考える。 →時間の経過に着目させる。	○前時のスイミーの一生懸命考えた様子から、考えた作戦について読み取る。→「さけんだはどうしてだろうね?」	一斉		
	③スイミーが考えた作戦について考える。	○スイミーはみんなが楽しく暮らせるための作戦を思いつきました。どんな作戦だったでしょう。 ○作戦のための二つの決まりに線を引く。 ○倒置法について知る。 ○決まりについて体験する。 →「けっしてという言葉が入るのと入らないのではどう違うんだろう?」	個人 ペア グループ	スイミーの提案を理解している。 (発言・観察)	作業帳 P42-9 ワークシート②-3・4
	④第四場面後半の音読のしかたを考える。	○作戦を思いついたスイミーをどう読むか。 「この場面に題名をつけるとしたら、何とつける?」			
ま と め	⑤話し合ったことを考えながら、音読する。		グループ	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	

(7) 評価

スイミーと小さな魚たちのやりとり、スイミーの提案を理解している。(発言・観察)
場面の様子が表れるように音読している。(観察)

本時の指導(8/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
- 話し合ったことを考えながら、音読することができる。

(3) 本時の重点的指導事項

文章検討

(4) 授業仮説

スイミーたちの喜びを読み取る場において、ペアやグループで話し合わせることにより、叙述に即して読み取ることができるであろう。

(5) 準備

ワークシート

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展 開	②第五場面(教科書P48L9～最後)を読み、音読のしかたを考える。	○スイミーたちはすぐに大きな魚のように泳げましたか。 (文章検討) ○どうしてスイミーは「ぼくが目に なるう。」と言ったのだろう。	一斉		
	③「あさの つめたい水の中を、ひるのかかやく 光の中を」という表現に着目する。	○この文からいつでも泳げるようになった魚たちの喜びが話し合えるとよい。 →「お友だちといつでも一緒に遊んでうれしいよね？」	ペア グループ	みんなで大きな魚を追い出し、自由を得た喜び、開放感を理解している。(発言・観察)	作業帳 P43-10
	④第五場面の音読のしかたを考える。	○この場面はどのように読んだらいいかな。 「この場面に題名をつけるとしたら、何とつける？」	グループ		
ま と め	⑤話し合ったことを考えながら、音読する。		グループ	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	

(7) 評価

みんなで大きな魚を追い出し、自由を得た喜び、開放感を理解している。(発言・観察)
場面の様子が表れるように音読している。(観察)

本時の指導(9/10時間)

(1) 題材名「スイミー」

(2) 本時の目標

- 場面の様子や登場人物の気持ちを想像しながら詳しく読み、それが表れるように音読することができる。
- 話し合ったことを考えながら、音読することができる。

(3) 本時の重点的指導事項

発表原稿の書き方、音読のしかた

(4) 授業仮説

音読練習の場において、自分の好きな場面とその理由をワークシートに書き、ペアで文章の確認をし合うことにより、次時の発表への意欲が増すであろう。

(5) 準備

ワークシート、聞き方・話し方

(6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文を読む。		個人	場面の様子が分かるように音読している。 (観察)	
展	②好きな場面を選び、音読発表をすることを伝える。	○好きな場面を、読み方を工夫して音読する。P51の「どこを、どんなふうに読みますか。」をヒントにして、 元気よく→ <u>元</u> さびしそうに→ <u>さ</u> よびかけるように→ <u>よ</u> というように文の横にマークを書き入れる。	一斉		
開	③好きな場面を選び、ワークシートに発表用の話型を書く。 ④ワークシートを見せ合い、文章の確認をする。	○ワークシートの(れい)を使って、文章を書く。	個人 ペア	発表用のワークシートを書くことができる。 (ワークシート)	ワークシート③
ま と め	⑤音読練習をする。		個人	自分の読みたい場面を選び、熱心に練習している。(観察)	

(7) 評価

自分の読みたい場面を選び、熱心に練習している。(観察)

発表用のワークシートを書くことができる。(ワークシート)

本時の指導(10/10時間)

- (1) 題材名「スイミー」
- (2) 本時の目標
 - 好きな場面を、感想も合わせて説明することができる。
 - 読み方を工夫して、好きな場面を音読することができる。
- (3) 本時の重点的指導事項
発表の聞き方、感想の交流のしかた（相互交流活動）
- (4) 授業仮説
音読発表の場において、グループのみんなの好きな場面・その理由を聞くことにより、自分との読みの違いを知り、多様な読みに気づくであろう。
- (5) 準備
ワークシート、聞き方・話し方
- (6) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点・支援	形態	評価規準・方法	準備
導 入	①全文音読をする。	○好きな場面を、読み方を工夫して音読する。P51の「どこを、どんなふうに読みますか。」をヒントにして、 元気よく→ 元 さびしそうに→ さ よびかけるように→ よ	個人	自分の読みたい場面を選び、熱心に練習している。（観察）	
	②好きな場面を、読み方を工夫して音読する。				
展 開	③聞き方・発表のしかたについて確認する。	○友だちの発表を静かに聞く。 ○自分と違うところやいいところを探しながら聞く。 ○自分の好きな場面を理由をつけて紹介し、場面の様子が分かるように音読する。	一斉		
	④音読発表会をする。	○4人ぐらいのグループになる。 ○グループに聞こえるような声の大きさと読むことを助言する。	グループ	相手の音読のよいところを見つけている。（観察）	ワークシート③
	⑤友だちの発表を聞いて、感じたことをワークシートに書く。	○単に「音読が上手だった」と書くのではなく、学習内容に沿ったものであるように助言する。	個人	読みの違いや多様な読みに気づくことができる。（ワークシート）	ワークシート④
	⑥感想の交流をする。	○ワークシートをもとにペアやグループで感想の交流をする。	ペア グループ	自分の思いを相手に伝えることができる。（観察）	
ま と め	⑦スイミーのお勉強を始めた頃と変わった自分に気づく。	○スイミーのお勉強を始めた頃とどのように変わったかをワークシートに書く。	個人	自分の読みの変化に気づくことができる。（ワークシート）	ワークシート④

- (7) 評価
自分の読みたい場面を、理由をつけて話し、読み方を工夫して音読している。（観察）
友だちの発表を聞いて、感想の交流ができる。（ワークシート）